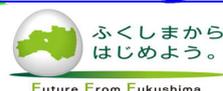


～夢と希望をはぐくむ県南の教育～



# 県南社教 T I M E S

第 1 0 号

平成 3 1 年 2 月 2 7 日

編集・発行 福島県教育庁県南教育事務所 阿部 央

## 地域学校協働活動事業推進フォーラム

【1月30日（水） ビッグパレットふくしま】

### 【実践発表】「地域学校協働活動事業の実践について」（モデル市町村の発表）

県南域内からは、モデル地区の西郷村が発表しました。西郷第一中学校区で、「学習支援活動」「地域活動・ボランティア活動」に取り組み、子どもたちが地域の方とともに、生き生きと活動している様子が報告されました。



<西郷村の実践発表>



<夏休みの学習会>



<公共施設の清掃>



<地域の方との交流>

### 【シンポジウム】「地域と共にある学校を目指して」

尚絅学院大学の松田教授がコーディネーターとなり、パネリストに栃木県の教育委員会や地域連携担当教員、福島県のモデル地区の関係者、アドバイザーとして貝ノ瀬先生にご指導いただきました。シンポジウムのポイントは以下のとおりです。今後の参考にしてください。

- ・ 教育課程の中に、地域の方が入った体験活動等を位置づけた方が効果がある。
- ・ 学校支援のしくみをつくったことで、学校と地域の歩み寄りが見られ、子どもに質の高い授業が展開される。
- ・ 栃木県では、地域連携教員をすべての学校に配置している。担当は、管理職以外で、主に社会教育主事有資格者である。  
(連携教員の役割) →①プランナー ②コーディネーター ③アドバイザー  
②は、他の教員と分担して(チーム)で行う。管理職でないと対応できないものは任せる。
- ・ 各学校での連携の段階  
小学校→地域の方が来校 中学校→生徒が地域に出て貢献する 高校→キャリア教育
- ・ 地域学校協働本部事業、コミュニティースクールは、手段(ツール)である。ゴールは、よりよい社会の担い手を育成することである。
- ・ 持続可能なしくみづくりが必要である。(ルール、役割の明確化) 最初は手間がかかるが、次第に楽になってくる。
- ・ 地教委は、規則をつくって全体のイメージを持ってほしい。

## 「子どもがふみだす復興体験応援事業」成果発表会

【1月19日（土） 福島県文化センター】

標記事業の成果発表会（ステージ発表、展示・掲示発表）が行われ、県南地区からは西郷村立川谷中学校が、「F TIME」のステージ発表を行いました。西郷村の開拓の歴史から始まり、村の特産物「じゃがいも」「ルバーブ」を使った商品開発、堀川ダムでのウチダザリガニの駆除活動、剣桂での水質検査、日本橋ふくしま館でのPR等、1年間の成果を発表しました。

ステージ発表は16団体、展示・掲示物での発表は28団体でした。たくさんの方が来場し、今年度の復興体験応援5事業の様々な成果を披露することができました。



# 社会教育事業アラカルト

## 地域家庭教育推進県南ブロック会議(1/22)

城内の学識経験者、PTA連絡協議会、学校関係者、企業、各種団体、行政関係者の代表が集まり、今年度の家庭教育事業の成果と課題について話し合われました。

初めに、五箇小学校養護教諭の穴沢直美先生から「親子の学び応援事業モデルPTA」の実践発表がありました。幼小中が家庭や地域と連携し、「行事等でのふれあう場の設定」「メディアコントロール」「健康教育の推進」等に取り組み、多くの成果をあげています。次に、今年度の成果と課題について教育事務所から説明し、各委員から感想や意見をいただきました。最後に、次年度の家庭教育の重点について協議し、今後の課題として次の点があげられました。



- 自己肯定感の低下
- 親のスキルを上げていく
- コミュニケーション不足
- 子ども自身の課題を理解(発達障害等)

なお、「家庭教育支援プログラム」は、次年度も積極的に活用できるよう、学校・PTA・各種団体等にもさらに周知していくことを確認しました。

※「家庭教育支援プログラム」は、PTA行事や家庭教育研修会などの講師を県南教育事務所で紹介するものです。次年度に向けて、親子の体験活動や学び講座などは是非ご相談ください。(ちらしや申込書は、県南教育事務所HPに掲載しています。)



## “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業

過疎・中山間地域連携事業の一環として、東白川郡内全小学校で実施しています。地域の人材を活用した体験活動を通して、地域のよさを再発見して、次代を担う人材を育成します。

子どもたちは、この事業を通して地域の伝統文化や産業を知り、地域の方々との交流を深めることができました。やはり、本物に触れたり体験したりすることは大切で、各学校の先生方からも「地域の方と交流しながらの活動は、互いに知るだけでなく、感謝の心を感じるよい機会だった。」「地域の方々のすばらしい考え方や技などを聞いたり、体験したりすることで、子どもたち自身の生き方により影響がある。」「すごい人(何かに精通している人)はテレビに出るような人ばかりでなく、身近にもおり、自分の地域に誇りをもつきっかけになると思う。」など高い評価をいただいています。この事業は、次年度も継続して実施される予定です。



### 紙すき体験(鮫川和紙)(1/17)【鮫川小学校】

6年生が和紙づくりの歴史と作業工程の説明を聞き、その後実際に鮫川和紙の紙すきに挑戦しました。



### ダリア体験学習の発表会(1/28)【笹原小学校】

6年生が班ごとに、ダリアの植え付けからダリア染めまでの学習の成果を講師の先生をお呼びして発表しました。



### 御田植祭の講話(2/4)【高野小学校】

3年生が、宮司さんから祭の由来と内容を教えていただきました。実際に踊りで使用する衣装も試着しました。



### 雅楽体験(2/14)【近津小学校】

6年生が、太鼓、箏、笛などの楽器の演奏を体験しました。最後に、代表児童が先生と一緒にコラボ演奏しました。